

地域の子どもを守る会「なんかんパトロール隊」だより
バックナンバー

【8月号】

広島市南観音女性会 理事 中村 和枝

月村会長の代理で、なんかんパトロールの会議に参加させていただいていますが、諸団体の方々がこども達にとって危険な箇所や行動を出し合い、どのように改善したのかを話し合い、常に気にかけて下さっている姿を見て、感謝と身が引き締まる思いです。

夏休みになり、こども達が事故や事件に巻き込まれることのないよう、目で見守る、「見守り運動」を諸団体の皆様、地域の皆様と共に頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

【7月号】

南観音学区こども会育成協議会 藤井本 景子

当こども会は、今年度より西区こども会連合会を脱退し、南観音学区内での活動に重点を置いた、独自の活動をスタートしました。

今後はこれまで以上に地域に根ざし、こどもたちが楽しめる行事を企画・運営していこうと思っています。また、地域の皆様ともこれまで以上に深く連携・協力し、町全体でこどもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えています。

新しく生まれ変わる南観音学区こども会をどうぞよろしくお願いいたします。

【6月号】

南観音学区老人クラブ連合会 会長 中垣 八朗

昨年度の出生数は70万人程度、これからも減少傾向は止まらないといわれ、寂しく思っている昨今です。

しかし、南観音学区の小学生の登下校の様子を見る限りでは、こどもの数が少なくなった感じはなく、中学生や自転車通学の高校生などで歩道が混雑するほどです。

4月1日から自転車の交通反則通知制度（青切符）が実施されました。特に幼児を乗せた自転車を見るにつけ、心配をしています。

反則制度をよく勉強して対応していただくことだと感じています。

【5月号】

西地区保護司会第三分会 菅井 篤子

刑務所などで反省の日々を過ごした人はどの地域にも居て「よい社会人」となるべく頑張っています。その手伝いをするのが保護司。

仲間の更生保護女性会の方がこの地域にも居てくれて共に手を携え、各団体の方々と共にこど

も達は何の心配もなく学校に通ったり遊んだり生活できる町づくりをしてゆくのも私達の活動の一つ。子育て支援も一つの活動です。そして、こども達のキラキラ笑顔が私達の最高のご褒美です。

【4月号】

南観音地区民生委員・児童委員協議会 会長 伊野 有美子

南観音地区民生委員・児童委員協議会はピュアクックの角を担当していますが、自分の担当地区近隣での見守りを行なっている委員もいます。んかんパトロール隊は、年間を通じて日々こども達の登下校の安全を見守る活動を行っております。

元気に挨拶をしてくれる子ども達の姿をみて、私たちもいつも元気をもらっています。友達と一緒に帰りながら、危ないなあと思った時には声かけをしますが、それもエネルギーのあふれる子ども達ならではのようです。

これからも笑顔の子ども達があふれる南観音であるよう我々も地域づくりに励んでいきたいと思っています。

【3月号】

南観音学区体育協会 広島市スポーツ推進委員 川本 貴博

なんかんパトロール隊は、年間を通じて日々こども達の登下校の安全を見守る活動を行っております。この季節は日が暮れるのも早く薄暮は事故も多くなりやすいので、より注意をしてパトロールしなければなりません。

私は自転車に乗ることが多いので、自転車の前かごにも「南観音学区パトロール中！」というステッカーを貼り付けて、みなさんの目にとまるようわかりやすくしています。これは地域の交番との連帯感を感じさせる効果もあるので、少しずつ広げていけたらと思っています。このような小さな気付きと改善行動がこども達や地域の安全に繋がると思います。

これからもなんかんパトロール隊は地域に大きな信頼を持ってもらえるように活動していきます。

【2月号】

南観音小学校 校長 筒井 順也

「行ってきます」と家を出た子どもたちが、「ただいま」と笑顔で家に帰る。「さようなら」と学校で別れた子どもたちが、「おはようございます」と元気に学校へ戻ってくる。何よりの願いです。地域の皆様の温かい見守りに支えられ、子どもたちは日々成長しています。

小学校では今、卒業を控えた6年生が、これまでの感謝と地域を明るくしたいという思いを込めて、「フラワーロードプロジェクト」を進めています。ご期待ください。

【1月号】

南観音公民館 館長 樋口 英子

寒い時期はつい背中が丸くなってしまいがちですが、登下校中のこども達にはあまり関係ないようです。今日も澄んだ空気に元気な声が響きます。

パトロール隊の活動では、こども達をとおして季節の移り変わりを感じることができます。何かと変化があり緊張した面持ちの春。元気いっぱいに日焼けした夏。学校行事などを経験し自信を得た秋。そして冬を迎え、こども達からは落ち着きが感じられます。

新しい年も馬のように駆け抜けていくことでしょう。そんな中でも、こども達の成長を感じ取りながら、じっくりと見守っていきたいと思います

【12月号】

観音新町町内会 会長 月村 佳子

観音新町町内会では、町内会役員、観音新町在住の青少協・女性会・子ども会の役員の人達でパトロールを行っています。

親と離れられなくて泣きながら登校していた1年生の子が、今は小学生らしく楽しそうに登下校している姿を見て嬉しく思ったりします。2・3年生のやんちゃなこども達が楽しそうに挨拶する姿、5・6年生にもなるとしっかりした顔つきになり頼もしささえ感じます。「おはようございます」「おかえりなさい」との声かけが心を明るくしてくれます。何も分からなかったこども達をここまで成長させてくださる先生方に感謝の気持ちで一杯です。

こども達は地域、日本の宝です。これからも地域のみんなで力を合わせ、見守りを続けていきたいと強く思っています。

【11月号】

南観音8丁目町内会 岩井 功光

新年度の4月の中頃、毎朝の見守り中、低学年の一人がカバンの中から何かを取り出し私に渡してくれた。その時は何かとはわからず、一段落した後に見てみると「毎朝の見守り活動ありがとうございます。安心して通学できます」との内容でした。

たまたまその日が見守り隊の月例会のため、皆さんに報告する機会があり披露した。皆さんより拍手があがり報告することができた。

そんな事があることすら思ってもなく、感激する瞬間だった。これからもできる限り、見守り活動を続けたい。

【10月号】

南観音4・5丁目町内会 会長 桐木 徹

夏休み中には南観音学区の夏の風物詩“こども夏まつり・盆踊り”が行われました。会場には多くのこども達が集まり笑顔はじけんばかりに楽しそうに動き回っていました。なんかんパトロール隊の方々も見受けられ笑顔で楽しんでおられると同時に、スタッフTシャツを着用しておられる方は猛暑の中での会場準備等にも従事されていたのだと……。ありがとうございました。

夏の風物詩は“笑顔はじけるとき”であり、“地域の皆様のつながりが安心安全を支えこどもを育むまち”となっているんだとを感じる一瞬ですね。

毎月のなんかんパトロール隊の会議では、依然として各町の不審者情報が数件、内容も様々で、不審者に遭遇した場合、こども達はすぐに逃げる（帰宅する）を第一優先として難無きで済んでいる現状ですが、まだまだ多くの不安全状況は潜在していると感じています。反面、こども達の不安全行動を目撃した場合、注意の一言が不審者と思われることも多々あるのでは？と思いつつ予防としての「声かけ」（注意）は大切な活動であると感じています。

今、学区内に新たな施設なども計画され住環境も変化しつつあり、こども達への影響も懸念されている中、“笑顔はじける地域のつながりは地域の安心安全を支えこどもを育むまちとなる”ことを願いつつ、こども見守り活動、地域コミュニティ活動が多くの皆様と共に続くことを……。

【9月号】

南観音2・3・6・7丁目町内会 会長 橋川 徹

広島は今年被爆80年となる日を迎えました。この平和記念式典に、南観音小学校の児童が平和への誓いを込め「平和の鐘」を突く代表者として選ばれ、全員で黙とうを捧げました。また、8月6日は児童達の登校日となっていて平和の大切さを学んだ事と思います。

今年は例年になく猛暑が続いておりますが、後期の登校開始日（8月27日）には、全員元気な姿で登校することを今から楽しみにしております。

【8月号】

南観音一丁目南部町内会 会長 中泉 勝男

暑い夏が到来した今年も、こども達の長い夏休みがやってきた。

平素は学校への登下校時に交通指導をしているが、大声で「おはようございます」「ただいま帰りました」とあいさつする子など、それぞれ個性のあるこども達と出会う楽しみがある。

今のこども達は元気な姿の出し方が少ないように思う。田舎育ちの私は学校の行き帰り、今とは交通事情も随分と違うが道いっぱいになり賑やかに帰ったものだ。友達と別れる時はこの後の遊びの約束をして別れたものだが、今のこども達は別れる時もあまり声掛けなどせずサッと別れる。塾等があるからかこどもの数が少ないことでそうなのか寂しさも感じる。

長い夏休み、水難事故や交通事故に気を付け元気な姿で8月27日を迎えて欲しい。

【7月号】

南観音社会福祉協議会 推進委員 竹本 トシコ

雨降りの放課後、集団下校する児童の内の一人が、陸橋の階段を傘もささず、水しぶきを上げて元気に駆け降りてきました。「お帰り」「転びんさんなよ」と声をかけると、「大丈夫よ」と言って笑いました。

カラフルなランドセルを背負い、楽しくおしゃべりしながら下校するこども達の後ろ姿を見送り、何かとこどもを巻き込む事故が多い昨今、これからも彼らが安心して登下校できるよう地域の皆さんと協力し見守っていきたいと思います。

【6月号】

認定こども園法輪保育園 園長 岩井 月美

新学期が始まり、黄色いカバーのついた色とりどりのランドセルを背負った子ども達が賑やかに登下校している姿を見ると嬉しくなります。

しかし、不審者情報の増加、子どもを巻き込む交通事故のニュースが聞かれると心が痛みます。認定こども園法輪保育園では、道路管理課の方に来ていただき交通安全教室を開催、道路の安全な歩き方の指導を受けたり、不審者訓練では「いかのおすし」のお話など繰り返し行ったりしています。子ども達が安心してお外で元気いっぱい遊ぶことができるよう願うばかりです。

【5月号】

南観音地区青少年健全育成連絡協議会 会長 金村 慎一

青年指導員になって、もうすぐ1年が経とうとしています。この間に大きな事件もなく、なんかんパトロールも一定の役割を果たしていると思っています。最初は「おかえり～」と声をかけると、うつむき加減で「ただいま」と答える子どもたち、中には返事も返らなかった子どもたちもいましたが、最近では沢山の子どもの方から「ただいま」「今日も見守りありがとう」と声をかけてもらえるようになり、とても嬉しく思っています。子どもたちの元気な笑顔を見るたびに、私も元気をもらっているように感じています。

新一年生も入学してきましたが、子どもたちが安心して明るく笑顔で挨拶あふれる町、南観音にしたいものです。各種団体の方々を始め、なんかんパトロール隊、ボランティアさんたちのご協力・ご支援をいただきながら、私たち大人が共に声をかけ合い地域の子どもたちを見守っていけたらいいなと思っています。子どもたちが夢や希望をもてる「明るい未来のために！」

これからも温かく見守り活動が続けたいと思います。

【4月号】

南観音小学校 P T A会長 空間 大雅

3月も終わりが近づき、まもなく新年度が始まろうとしています。真新しいランドセルを背負い、笑顔で登校する新1年生を見るこの時期は、毎年微笑ましく、喜びを感じます。子どもたちの笑顔や元気な姿は、地域へ活力を与えてくれるものですね。

そんな子どもたちの笑顔を守る為、我々P T Aもなんかんパトロール隊の方々と協力し、子どもたちの登下校時間を中心に「なんかん見守り活動」を行っています。この活動は「できるひとが、できるときに」を基本方針とし、緑のカバン札やピンク色の名札をつけ、空いた時間に通学路上に立ち、子どもたちの安全を見守る活動です。是非、皆様におかれましても、この活動にご賛同いた

だき、少しでも子ども達を交通の危険や不審者から守っていただければ幸いです。

これからも南観音PTAは、なんかんパトロール隊の一員として、地域の子ども達にとって安心、安全な町になるよう活動を続けてまいりたいと思います。

【3月号】

山陽高等学校 女子ハンドボール部

私たちは月に1度、水曜日に南観音小学校の児童達の下校を見守る「なんかんパトロール」に参加しています。

小学生が元気よく挨拶や会話をしてくれて、私たちも元気をもらっています。これからも小学生や地域の方々との交流を大切に、小学生が怪我や事故をせず、安全に安心して下校できるよう、しっかり見守っていきたいと思います。

【2月号】

南観音児童館 館長 永井 裕子

私は2024年の7月1日からここ南観音児童館の館長として仕事をしています。初めて参加させていただいたのが、この“なんかんパトロール隊”です。それぞれその場所で地域の方々に守られて、すくすくと育っていく子どもたちを見て、毎回感動しています。何が起こるかわからない世の中だから、自分たちの地域の子どもたちは自分たちで守っていくということが本当に大切なことなんだなぁと実感しています。“なんかんパトロール隊”の一員として、早くたくさんの子どもたちと保護者の皆様に信頼していただき、南観音児童館を安心していろんな経験ができる！たくさん楽しいことができる！安心安全な放課後の居場所としての児童館を目指し、努力しますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

【1月号】

南観音学区公衆衛生推進協議会 地域環境指導員 虻田 明水

『挨拶は生きる力』

毎朝、小学校の南門で子どもたちと挨拶を交わします。長くやっているとほぼ全員の顔を覚えます。いつもの明るい顔だとほっとします。

私がこれをやっているのは、挨拶ができる子になって欲しいからです。生きていく上で挨拶は致命的に大事だと、体験として知ったからです。それは“生きる力”です。「挨拶とは、自分を開き人に近づき人に迫り、お互いに心を通わせあうこと」だからです。挨拶は“気合”です。考える前に瞬間に“気”を発するのです。人と心を通じ合う。これが人の世を生きることですよね。挨拶には無限のパワーがあるのです。

【12月号】

南観音女性会 副会長 脇本 則子

なんかんパトロール隊発足時より南観音女性会の一員で参加しています。立つ場所が以前は南観音だったのですが、孫が4年前に南観小に入学したので、観音新町に変えていただきました。孫が1・2年生の時は会えて「おかえり」、『ただいま』、「気を付けて帰るんよ」、『脇本君のおばあちゃん？』、「そうです、仲良くしてね」等声掛けをしていましたが、孫も4年生になり、ここ2年間は1・2年生が対象なので立つ時間が1時間早いため孫に会えません。ちょっぴり寂しいですが、一目だけ会えました。1時間経っても子ども達が帰ってこず、「どうしたんかね」と心配していると帰

ってきました。1年生から6年生まで一緒です。集団下校の練習だったのです。孫もびっくりしていました。笑顔で「おかえり」と言うと『ただいま』と大きな声が帰ってきました。私の身体が続く限り、元気で事故のないよう見守りを続けたいと思っています。

【11月号】

南観音学区子ども会育成協議会 会長 藤井本 景子

なども会ではお祭りなどの行事を通して町内の皆さんと交流をさせていただいています。働いている役員、保護者が多い中、子ども達の見守り活動にはなかなか参加できませんが、行事を通して町内の皆さんに顔を知ってもらうことが子ども達の安全にもつながっていると考えています。子ども達と一緒に南観音学区を盛り上げていけるよう子ども会としても頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。

【10月号】

南観音学区老人クラブ連合会 会長 中垣 八朗

なんかんパトロール隊が見守る活動は、十数年経過しましたが、これまで児童の傷害・死亡事故がないことにほっとしている昨今です。

最近の新聞によれば、親が自分の子どもをいじめたり、また命を奪ったりする事件を見るにつけ、心を痛めています。

昨年の出生数は、全国で73万人程度、明治以来最低の状況、このままでは近々明治期の人口4,000万人まで落ち込むのではないかと伝え、教育基本法が言う親と教師が教育とマナーを教えるだけでなく、子どもをすべての人々が見守る諸活動が、最も必要な時代になっています。

戦争中は「神や仏を恋い願う」、戦後は神や仏はあるものか？

ドイツの実存哲学者は言う「神とはすべてを知り、すべてのことができる（全知全能）ことであり、この世には見たものはなく、存在しないが、人々は全知全能に向けて取り組み、神に近づけなければならない」と。

【9月号】

西地区保護司会第三分会 会長 菅井 篤子

私達は保護司です。更生保護女性会と共に過ちに陥った人達の「更生」のための支えとなります。「更生」とは元々生き返るという意味。失敗しても少しずつやり直す、その手伝いです。私達は更生保護の心を広め、例えば南観音の子ども達が豊かに安全に生活できるよう、地域の人々と共に活動します。生き活きと幸せな子ども達はいつか素敵な大人になってくれると信じています。この活動を「社会を明るくする運動」と言います。

【8月号】

南観音地区民生委員・児童委員協議会 会長 伊野 有美子

南観音地区民生委員・児童委員協議会はピュアクックの角を担当していますが、自分の担当地区近隣での見守りを行っている委員もいます。大きなランドセルを背負いながら、恥ずかしそうに挨拶を返してくれていた1年生が、だんだんと通学に慣れ、たくましく成長していく姿を見守りながら、こちらも元気をもらっています。これからも笑顔の子ども達があふれる南観音であるよう我々も地域づくりに励んでいきたいと思っています。

【7月号】

南観音学区体育協会 広島市スポーツ推進委員 川本 貴博

なんかんパトロール隊は年間を通じて日々子ども達の安全を見守る活動を行っております。そして地域の治安が良くなるように色々なところに目を向けて、危険な場所などにも事前に目を配り、改善していく役割を担っていると思っております。

最近あった事例としては、通学路の横断歩道が薄く消えかかっている場所があったため、広島市の方へ話をしたところ、後日、横断歩道はきれいに書き直されて安全に渡れるようになりました。このような小さな気付きと改善行動が子ども達や地域の安全に繋がると思います。

これからもなんかんパトロール隊は皆様に大きな信頼を持ってもらえるように頑張っていきます。

【6月号】

南観音小学校 校長 齊藤 啓一

なんかんパトロール隊（通称：なんパト）は、平成17年2月に結成され、令和6年4月時点で22団体の代表の方々と組織し、その活動は21年目を迎えます。

なんパトは毎月1回会議を開催し、地域で発生した「不審者情報」や「児童の登下校の様子」を共有するなど、日々の見守り活動に生かされています。

また、この2年間で南観音地区に構える12の企業（約500名以上）の方々にもご協力いただき、同地区を通勤する際には「みんなで守ろう子どもの安全」の緑の鞆札をつけて見守り活動にご協力いただいています。

今年度は、子どもの安全を守る取組を積極的に推進している小学校（『登下校時の子どもの安全に関する重点取組校』）として教育委員会からの指定を受け、なんパトや地域企業の見守り活動への取組（協力）が全市に紹介される予定です。

南観音小学校地区にお住いの皆様、引き続き、子どもの見守り活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【5月号】

南観音公民館 館長 樋口 英子

花の香りに心弾ませる季節。4月から南観音公民館に勤務し、早くもひと月を迎えようとしています。

今年、南観音小学校には140名の新一年生が入学しました。おめでとうございます。ランドセルにすっぽりと体が隠れてしまっている一年生の後ろ姿を見かけると、自然と笑みがこぼれてきます。この子たちも、数年後にはランドセルが小さく見えるぐらいに頼もしい子に成長していることでしょう。

これから、この町の宝物である子どもたちを、心からの笑顔で迎え見守っていきたいと思います。

【4月号】

観音新町町内会 寄重 久子

寒暖差のこの頃、元気いっぱいの児童の皆さん、先日は心のこもったお花をありがとうございます。見守りに参加して嬉しく思っています。

なんかんパトロールがスタートした頃、声掛けをすると恥ずかしそうに下を向いた児童、照れくさそうに小走りで帰った様子を思い出します。今では必ず「ただいま」の返事があり、そして「いつもありがとうございます」など、思わず心温まる瞬間です。事故のない安全な地域であるよう見守

りを続け、子ども達に触れあって元気をもらいます。

また、地域のふれあいの場は夏の盆踊り大会、お祭りの子どもみこし、学区全体では総合グラウンドでサマーフェスタ、公民館でウォーキング大会等々、子ども達の心につながるさとの思い出ができるように願っています。親子で参加してくださいね。

【3月号】

南観音8丁目町内会 岩井 功光

同居の孫がいるきっかけで、通学路の見守りを始めた。見守りを始めて4年、孫も中学生・高校生となり小学生がいなくなった。毎年のように、新小学生が通学し、また保護者の方とも挨拶を始め、辞めるきっかけを失ってしまった。近所にはスーパーがあり、朝早くから製品配送車（4t車）が出入りをして、大変危険な場所でもある。最近は製品配送車の運転手とも顔なじみになり、運転手の方から、「旗振りをしてもらって、大変助かっている。」との声があり、最近ではやりがいを感じることもある。交通事故に遭わないよう見守り隊全員で見守っているので、小学生の皆さんも交通ルールを守り通学してください。

【2月号】

南観音4・5丁目町内会 会長 桐木 徹

南観音学区内の多くの皆様（多くの団体様）が子ども見守り活動に従事されておられます。先日のなんかんパトロール打合せで、子どもは何かあった場合“逃げる”ことが大切との意見があり、子どもが何かあった場面に遭遇したとき「逃げろー！」と大声で叫ぶ警鐘を鳴らすことが重要だとならずいたのを覚えています。私もなんかんパトロール隊に従事して4年目になりますが、いつも皆様から大切な意見をいただきうなずきが多い場となっています。

コロナ禍を経て、南観音学区においても4年ぶりに各町内会の夏祭り、秋祭り・子どもみこし、サマーフェスティバル、南観音公民館まつり、ウォーキング大会など子どもと大人がふれあえる場が多く開催され、笑いあい、悔しがり、感情のあるコミュニケーションの素晴らしいステージを見ることができました。人と人で安心・安全な豊かで楽しめる元気な地域環境が育まれていること、そしてすごく喜んでいるエネルギーな子どもたちがいることをあらためて身近に感じています。

安全に限界はありません。パトロール隊の一員として皆様の意見などを参考に違った視点・新たな視点から、継続した子ども見守り活動を進めていきます。多くの皆様と共に！

【1月号】

南観音二・三・六・七丁目町内会 会長 橋川 徹

令和5年を振り返ってみると、5月からコロナが5類に移行し、地域では夏まつり、サマーフ

エスタ、さらにはウォーキング大会などが開催され 4 年振りに活気が戻ってきた。また、夏は大幅な気候変動により暑い日が続いたが、子どもたちは外で活発に走り回り、沢山の元気、エネルギーをもらった。

ここ南観音地区では、こうした子どもたちの成長を願いながら、日々見守り活動を行っている。新年も子どもたちの成長を願いながら、安全かつ安心して登下校できるよう見守りを続け、交通ルールを伝えていけたらと思う。

【12月号】

南観音一丁目南部町内会 会長 中泉 勝男

南観音小学校は、明治6年4月20日、観音村沖新開に「信成舎」として創立されて以来、過去3回の校名変更をしながら現在の広島市立南観音小学校として創立150周年を迎えました。10月29日には記念式典が行われ、皆で150周年を祝いました。

この長い歴史を持った学校に通う児童たちが安全に登下校できるよう見守りをさせていただく機会を頂き、私は誇りに思っています。子ども達の屈託のない元気と笑顔で「おはようございます」「ありがとう」「さよなら」の声を楽しみに交差点に立って活動しています。『子どもは国の宝』大事に育てましょう。

【11月号】

南観音学区社会福祉協議会

今朝も子どもたちの「おはようございます」という元気な声が聞こえてきました。

南観音学区では学区全体で色んなイベントが開催されます。このイベント開催では、各町内会や各種団体が強い絆と適確な連携を保っており、4年振りの今年のイベントでは来場者も多く、非常に好評で成功裏の内に終了しました。こうした絆・連携の下に、地域の子どもたちを守る会として「なんかんパトロール隊」が結成され、日々、通学時、下校時の見守り活動を続けております。

明日も子どもたちの「おはようございます」、「ただいま」の声が響きわたります。

【10月号】

なんかんパトロール隊 活動の様子



【9月号】

南観音地区青少年健全育成連絡協議会 青少年指導員 目代 槇枝

マスク着用をしなくなって

元気な子ども達の笑顔を見ることができるようになりました。

「おかえり」の声掛けに顔から汗を流しながら「ただいま」「さようなら」と元気な声が返ってきます。山陽高校女子ハンドボール部の生徒さんが子ども達に「おかえり」と『ハイタッチ』をしてくださると、笑顔で「ただいま」照れながら『ハイタッチ』をしています。

元気な、子ども達のパワーをもらって安心、安全に心掛け、皆さんと一緒に見守り続けていきたいと思います。

【8月号】

南観音小学校PTA会長 空間 大雅

まもなく夏休みです。夏休み中は普段と異なり、あらゆる時間帯で子どもの交通事故が発生しやすくなります。子どもは交通ルールに未熟なため、時に危険な行動をとることもあるかもしれません。住宅街や公園付近を走行されるドライバーの皆様には細心の注意を、地域の皆様には、子ども達の危険行動回避のための見守りをお願いします。

子ども達にとっては海水浴、夏祭り等、楽しいことがいっぱい夏休み。そんな夏休みを悲しい事故で台無しにさせない為にも、皆様のより一層の安全見守り活動をお願いします。

【7月号】

山陽高等学校 女子ハンドボール部 キャプテン 引尻 莉子

私たち山陽高校女子ハンドボール部は、月に一度“なんかんパトロール”という活動に参加させていただいています。この活動は下校する小学生を安全に見守る仕事です。私たちは小学生との交流を毎月楽しみにしています。下校している子たちに声をかけると返事してくれる子がたくさんいたり、自分から挨拶してくれる子がいたりしてとても嬉しい気持ちになり、やりがいのある活動です。

これからもお互い笑顔になれるように頑張ります。

【6月号】

南観音児童館 館長 武田 安江

「ただいま」と息を切らして元気な1年生が来所してきます。

今年度も30名の1年生が入所しました。児童館は4月より、全面開館になり、今まで遊びに来られなかった中学年も卓球やこま、ボードゲームで遊んでくれます。「大きくなったね。」「このこまなつかしい。」3年間、閉ざされた扉が開かれたように、賑わいある児童館が戻ってきました。子ど

もたちの安全を見守るのは室内であってもとても大変で、危ない行動やままごとのフライパンがいつの間にか卓球のラケットに！？地域の皆さんの温かいまなざしで南観音の子どもたちがのびのびと成長していることを実感しています。これからも児童館で見守っていきたいと思います。

【5月号】

南観音学区公衆衛生推進協議会 会長 糸山 和彦

所用で自宅から車で商工センターへ途中庚午橋を通過し、海岸沿いを走行。太田川大橋の所で赤信号になり停車。南側より30歳代男性の自転車が左折の為停止。当方の信号が青信号に変わったので、アクセルを踏み少し前進したところへ何を思ったのか自転車が突然進入してきて当たったと思ったが、間一髪のところで回避。血の気が引く思いでした。

4月から可愛い新入生の登校が始まりました。指標として私達大人が交通ルールを遵守し、事故ゼロチャレンジです。

【4月号】

南観音公民館 館長 渡辺 一淨

春本番！公民館前広場の桜も満開を迎えようとしています。

去る3月20日、「南観音小学校卒業証書授与式」に出席させていただきました。卒業生115名が沢山の思い出を胸に次のステージに旅立ちました。これからも1歩1歩階段を昇っていくことでしょう。

この沢山の思い出の中に、「なんかんパトロール隊」の皆さんの顔、顔、声、声があると思います。

また4月からは真新しいランドセルを背負った児童に出会えます。楽しみです。そしていつもの歩道橋の前に立ち、いつものように笑顔で、大きな声で、温かく見守って行きたいです。